

移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

県外物販の現場から

先々月の話になりますが、大阪（箕面）で鳥取県内市町村の物産展が開催され、私は八頭町のスタッフとして初めて県外の物産展へ参加しました。八頭町のものを買っていただくというご縁がその日限りで終わらないよう、販売した商品の詳細やお取り寄せのご案内等をまとめたチラシを作って持っていき、現地では売れ行きを見て販売促進用のポップをその場で書き足したり直したり、聞かれたことにはできる限りお答えしたり、珍しいものは試食を用意するなど、常に動きのある売り場づくりを目指しました。



他のスタッフや物産展の係員の方々が一緒になって張り切ってくださったおかげで、最後まで賑やかに、そして果物を中心として完売することが出来ました。

町外での物産展等の販売活動は、ただ八頭町のもの販売するというだけでなく、地域の魅力をギュッと凝縮して発信し、次の機会に繋げるためのきっかけ作りだと感じました。これからも積極的にこのような機会を作り、自信をもって八頭町をPRしていきたいと思えます。 松下 聡子

協力隊担当の現場から

今号よりしばらく、移住風景特別編成として多様な紙面展開を行ってみます。ご覧いただければ幸いです。

* 八頭町発見伝 *

— 鷹山城跡 —

今から約六百年前、八頭町役場八東庁舎の近くの山に「鷹山城（たかやまじょう）」という山城がありました。

この山城は、大江広元の子孫といわれている丹比（たじひ）氏代々の居城であったと伝えられており、天正九年（一五八〇年）、豊臣秀吉の鳥取攻略の大群が侵入の際、城主丹比孫之丞（たじひまごのじょう）は、秀吉の軍勢に抵抗するだけの力がなかったため、その後あえなく亡くなったといわれています。



現在、この山麓には無数の五輪塔がありますが、これは代々鷹山城を守ってきた城兵の墓標であるといわれています。また、城跡付近は平地になっており、植林がなされていますが、木々の間から見える町の様子は絶景で、八東地域を一望できます。城跡までは急峻な道となっていて登りきるのが大変ですが、機会があれば登ってみてください。

（産業観光課・田中）

○協力隊からのお知らせ

・1月26日（土）18:00~20:00「レコード音楽会」（於：道の駅はつとう）<松下>

●移住風景バックナンバー 八頭町役場のホームページからカラーでご覧いただけます。